

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.37	0.18
JPY/THB	0.2625	0.0042
USD/JPY	142.39	-1.67
EUR/THB	36.75	0.18
EUR/USD	0.9836	-0.0001
USD/CNH	7.082	0.007
SGD/THB	26.34	0.10
AUD/THB	24.83	0.16
USD/INR	80.87	0.89
USD Index	111.35	0.71

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.445	0.063
10Y (THB)	3.041	0.061
5Y (USD)	3.936	0.170
10Y (USD)	3.714	0.184

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,671.4	5.6
WTI (Oil)	83.49	0.55
Copper	7,680.0	-10.0

Stock

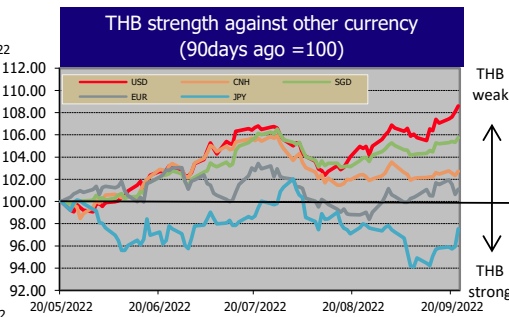
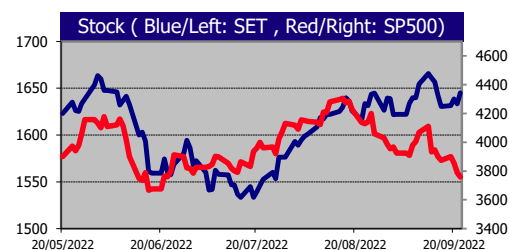
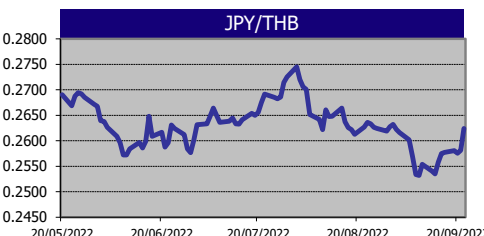
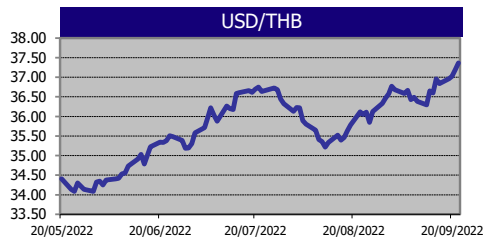
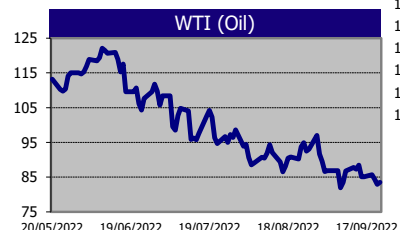
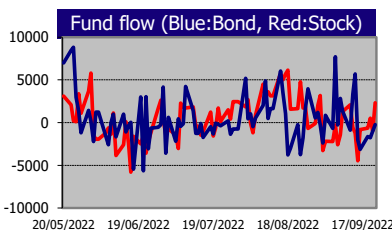
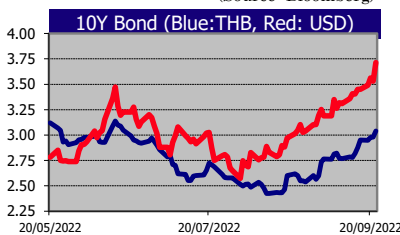
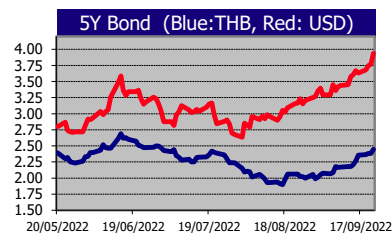
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,645.29	11.84
NIKKEI (JP)	27,153.83	-159.30
DOW (US)	30,076.68	-107.10
S&P500 (US)	3,757.99	-31.94
SHCOMP (CN)	3,108.91	-8.27
DAX(GER)	12,531.63	-235.52

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,306	3308.3
Bond net flow	(230)	802.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツは激しい値動きを伴いながら上昇。37パーツ台前半でスタートしたドル/パーツは、同日バンコク時間早朝に米国の75bp利上げが発表された中、序盤から底堅く推移。然しながら、バンコク時間終盤、37パーツ台半ばに到達したところで、タイ財務相がタイ中銀(BOT)に「パーツ相場を注意深く監視し、極端なボラティリティを抑えるよう要請した」との報道が伝わると、37パーツ台前半まで急落。その後も37パーツ台前半から半ばにかけて上下する展開に。海外時間に入り、ヘッドラインを巡る取引が一服すると、終盤にかけて37パーツ台半ばで落ち着いた推移となり、37.37レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル/円は5円以上の大きな値幅を伴い推移する展開。144円台前半でスタートしたドル/円は、序盤、米国の利上げ決定を受け底堅く推移する中、日銀(BOJ)が金融緩和政策の維持を決定したことも相俟って、146円に迫る水準まで上昇する展開に。ただ、バンコク時間終盤に日本政府・日銀にて約24年ぶりとなる円買い介入が実施されると、ドル/円は140円台後半まで急落。その後も上下動する中、海外時間序盤には一時140円台前半までする場面を見せた。終盤にかけては日本単独での介入について、その効果には限界があるとの見方も出る中、142円台半ばまで値を戻し、結局142.39レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週開催されたFOMCと日銀金融政策決定会合では特段サプライズはなかったものの、日米の金融政策の方向の違いが意識され、22日ドル円は145円を突破し、一時145.90円まで上昇した。政府・日銀は円安阻止に向け、「伝家の宝刀」為替介入に踏み切った。円買い介入は、アジア通貨危機による急激な円安に対応し、1998年6月に日米通貨当局が円買い・ドル売りの協調介入に踏み切って以来24年ぶりとなる。円売り介入を含めると、東日本震災後の円高進行を食い止めるために行った2011年11月以来、11年ぶりとなる。23日朝方、ドル円は142円前半で推移しているが、日銀が世界で最もハト派な中央銀行から脱却しない限り、介入のインパクトは短命に終わる可能性がある。(前川)